



ようせいのかくに



バカ兄貴
おこられて
やんの



湊！ちゃんと勉強
しないと
駄目じゃない

お父さんのように
なれないわよ



ぽすっ

まったく
勉強しろばっか

あーあ
目が覚めたら
勉強しなくても
いい世界に
ならないかな

うと...

うと...



オタ...

ようせいのくに～ボクたちは
果てしない夢の中で空を飛ぶ～



うーん…

なんだろう…
ここは…

風が気持ちいい…
外にいたいだ

どこだ…
ここ…?

ア

ア



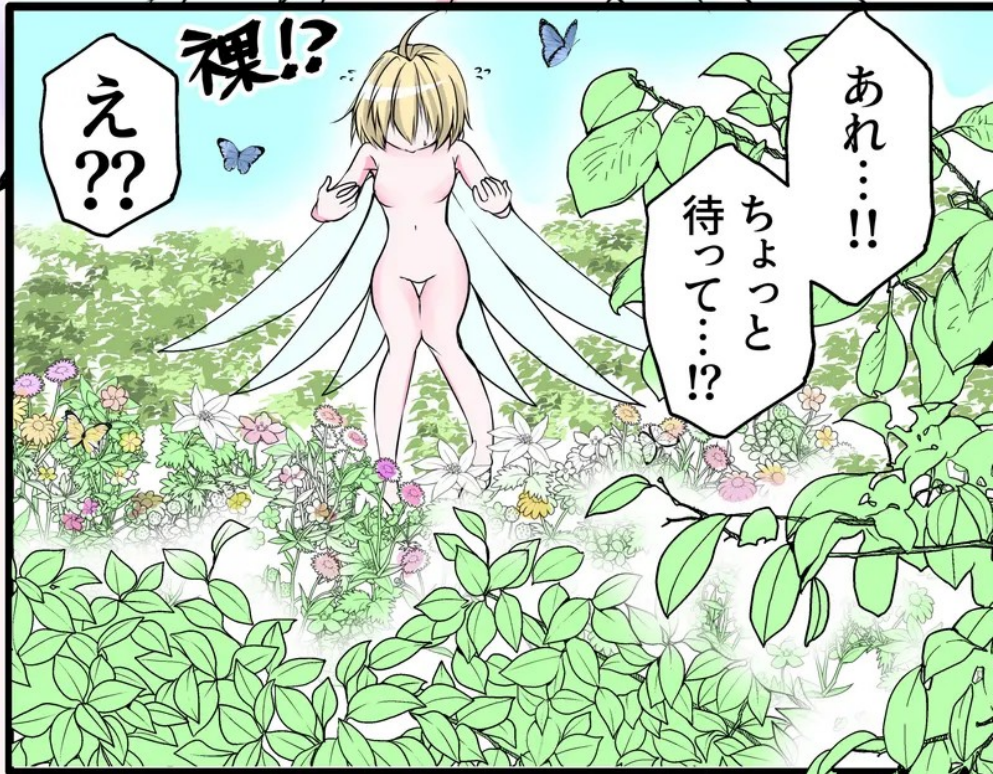
ええっと…
昨日は友達と一日
遊びまくって
家に帰って
シャワー浴びて
寝る前に母さんに
叱られて
妹にからかわれて
頭をポカリとぶったら
さらに母さんに
叱られて
ふてくされて寝たはず…



どこなんだよー！
それともまだ夢の中
だったのか!?



これ…もしかして
おっぱい…?



あれ…!!
ちよっと
待って…!?



これ：
女の子の
身体の：！？



もしかして
こっちも...?

する、

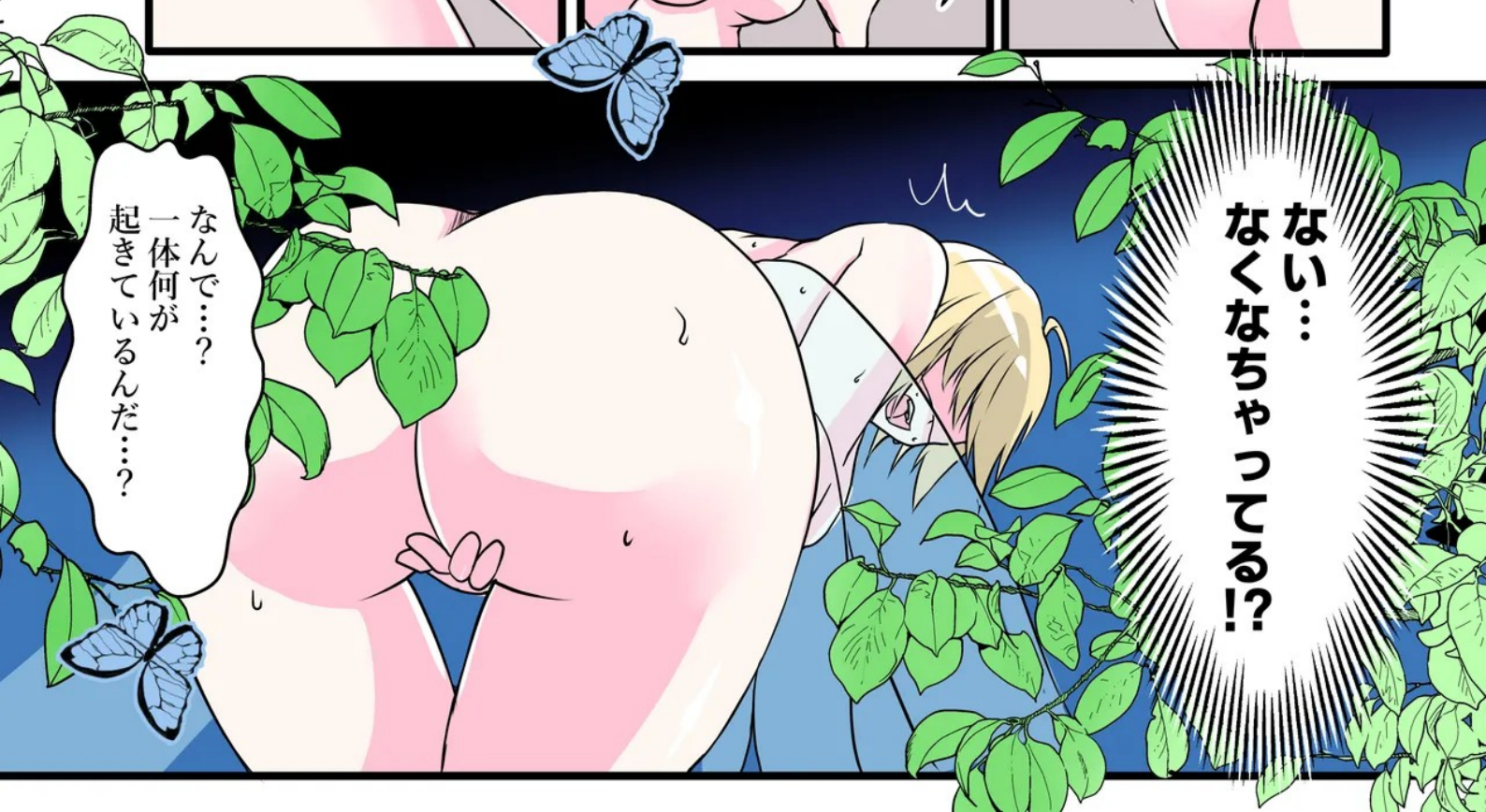


ひゃっ!?

ドグッ



ぐいっ



ない：
なくなっちゃってる!?

なんで...?
一体何が
起きているんだ...?

背中は何か
くつついてる

ん？

もじ
もじ

柔らかくて
きれいな
透明の
羽根？

おはよう！
ミト！

わあ！？

そうよ
あたしはナナ
そしてあなたはミト
何か変かしら？

え...？
菜々美？
生意気な妹がこんなに
可愛い子供になった
いるんだ？



へ……
変に決まってるだろ！

だいいち服！
なんて格好してるんだ！



それはミトも
いっしょでしょ？

それより
はやくいこう
みんなまってる

木の上？
みんな？
どうやって
あんな高い所に

行っってはダメだー

どうしたんだ
お前…おかしいぞ
学校はどうしたんだ

がっこう？

絶対におかしい…

あんな真面目な妹が
そんな事言うなんて…

ミト

わたしたち

もうがっこうなんて
いなくていいんだよ？

ようせいに
うまれかわったん
だから

おかしいのは妹だけじゃない

ボクもおかしくなってきた
さっきから変に心地いい……



逃げないと…!



これはきつと夢だ…

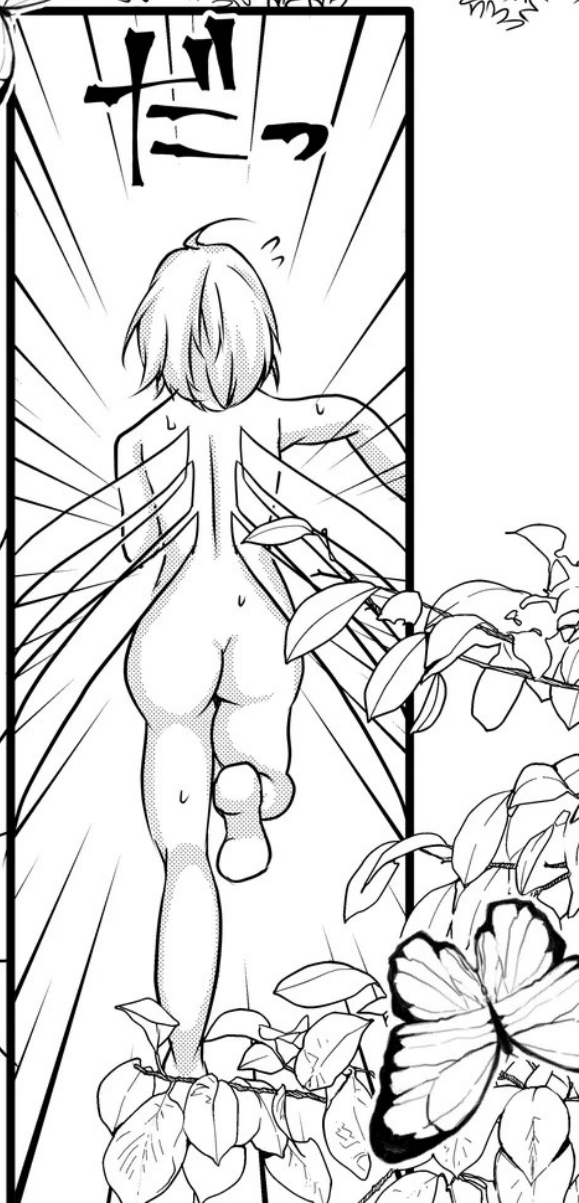
けれど本当に夢なの…?

このふわふわ心地いい感じ

何も思い出せなくなりそう…



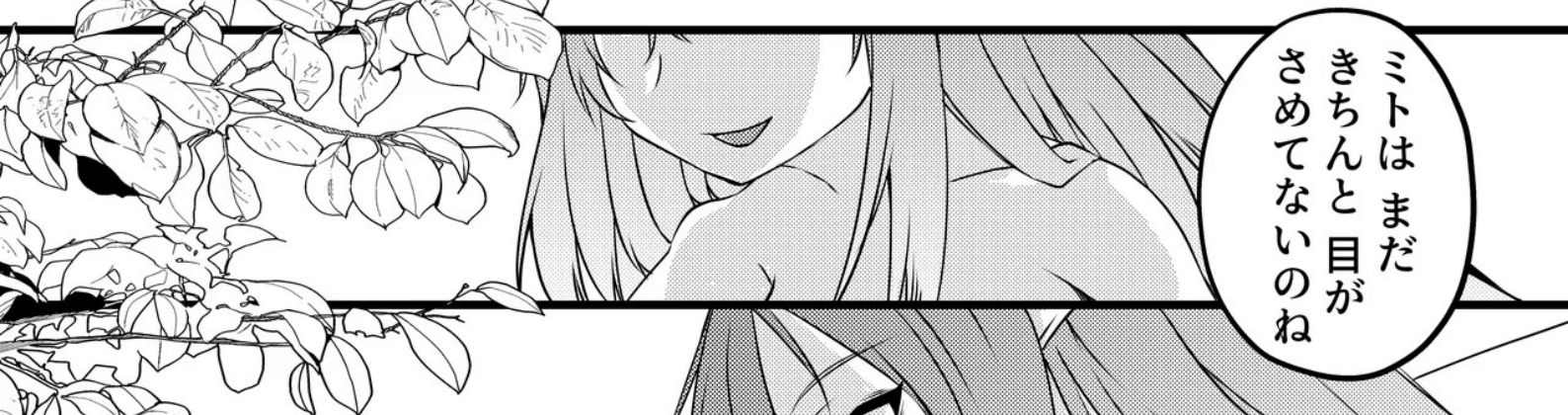
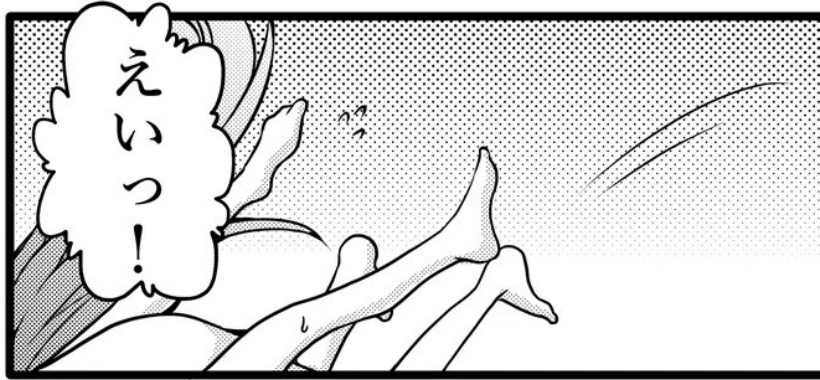
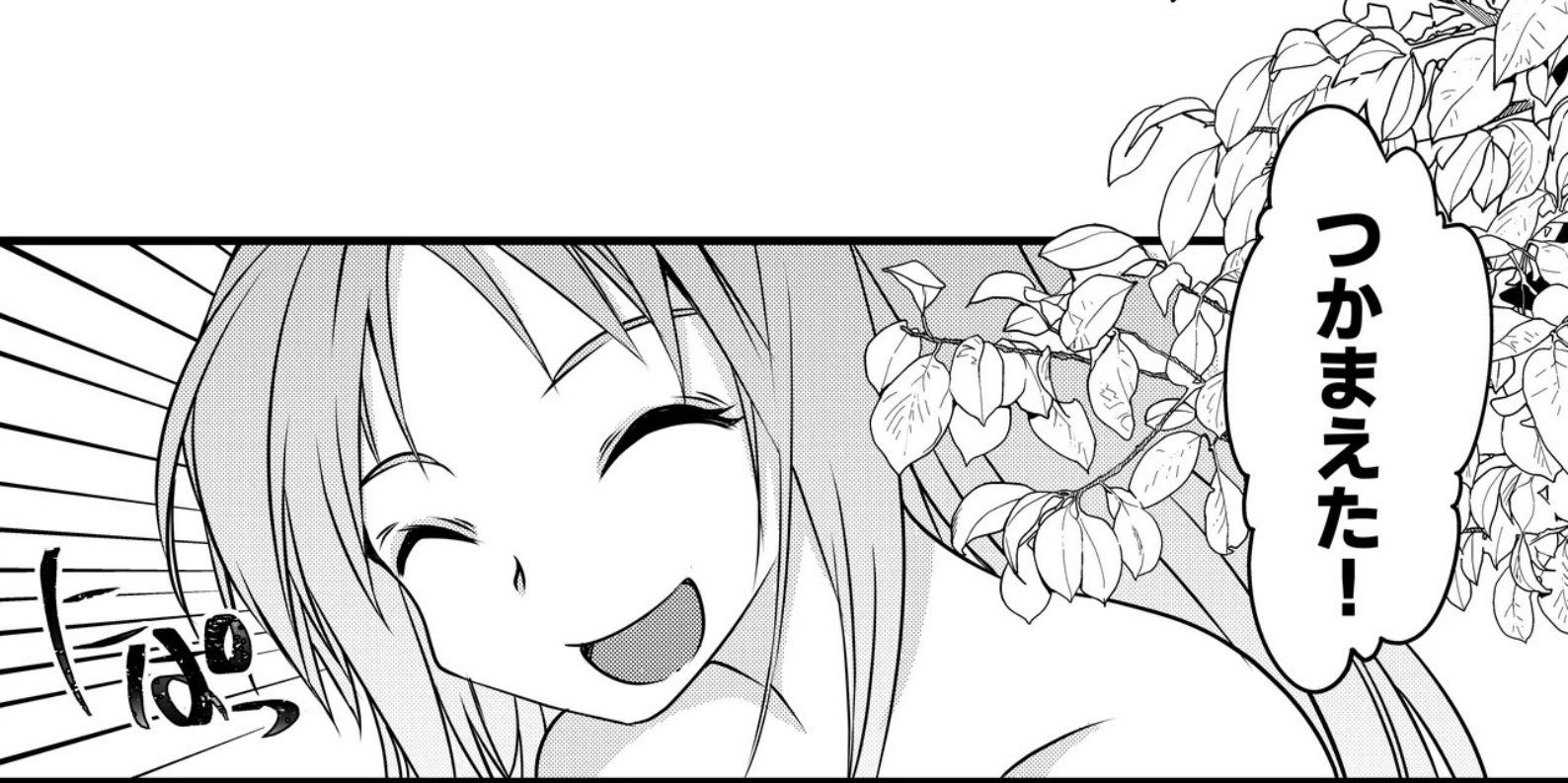
はあ

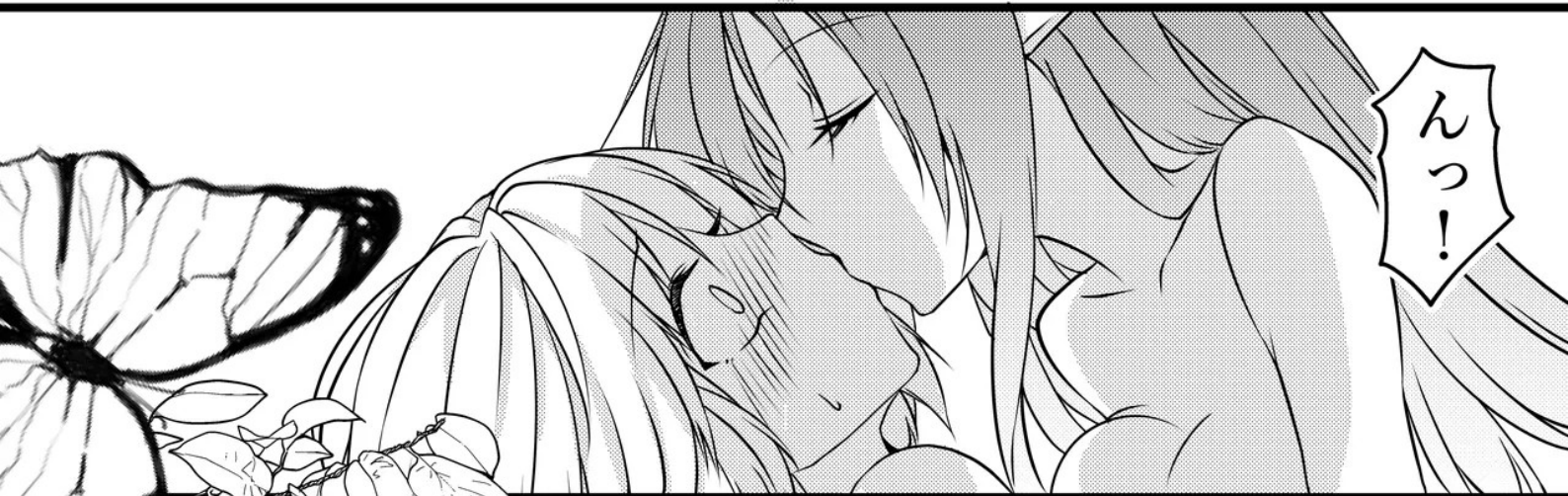


はあ

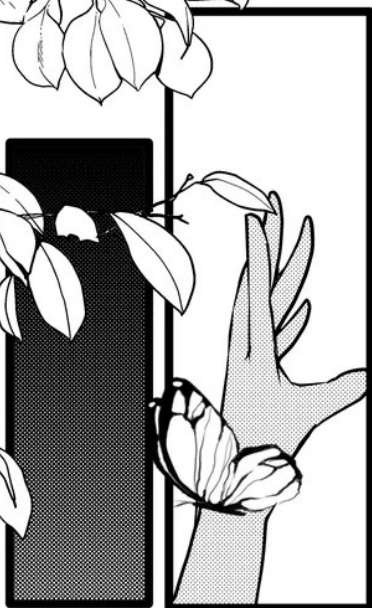


はあ





んっ!



身体を電流が
駆け巡るかの様に

喜びが幸せがいっぱいになる



菜々美の唇が
触れた瞬間
頭の中で何かが
壊れた気がした――



でも…それでも
いいやって
おもった

スッパ



ボクがボクで
なくなっていく――

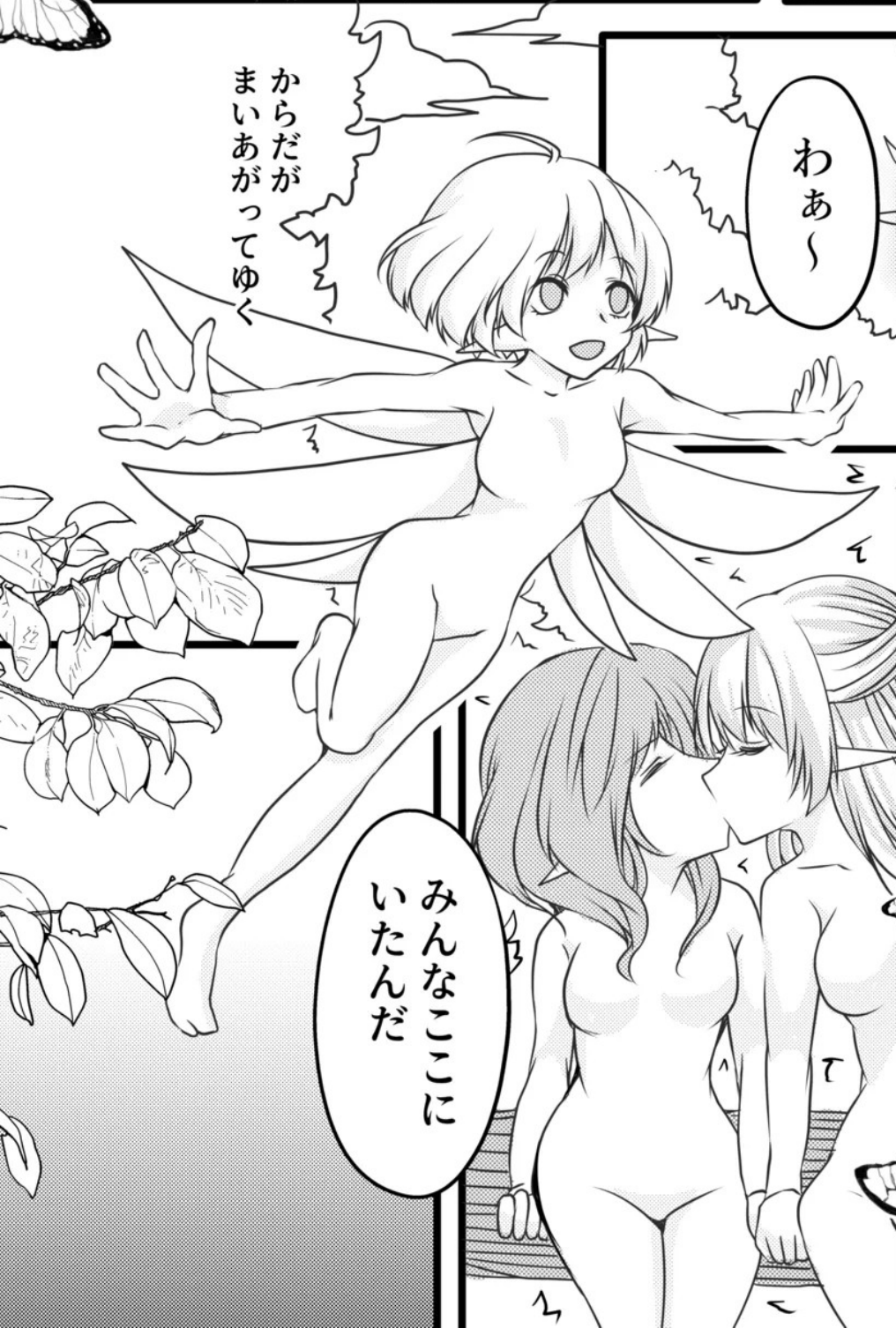


さあみんなの
ところへとぼう――





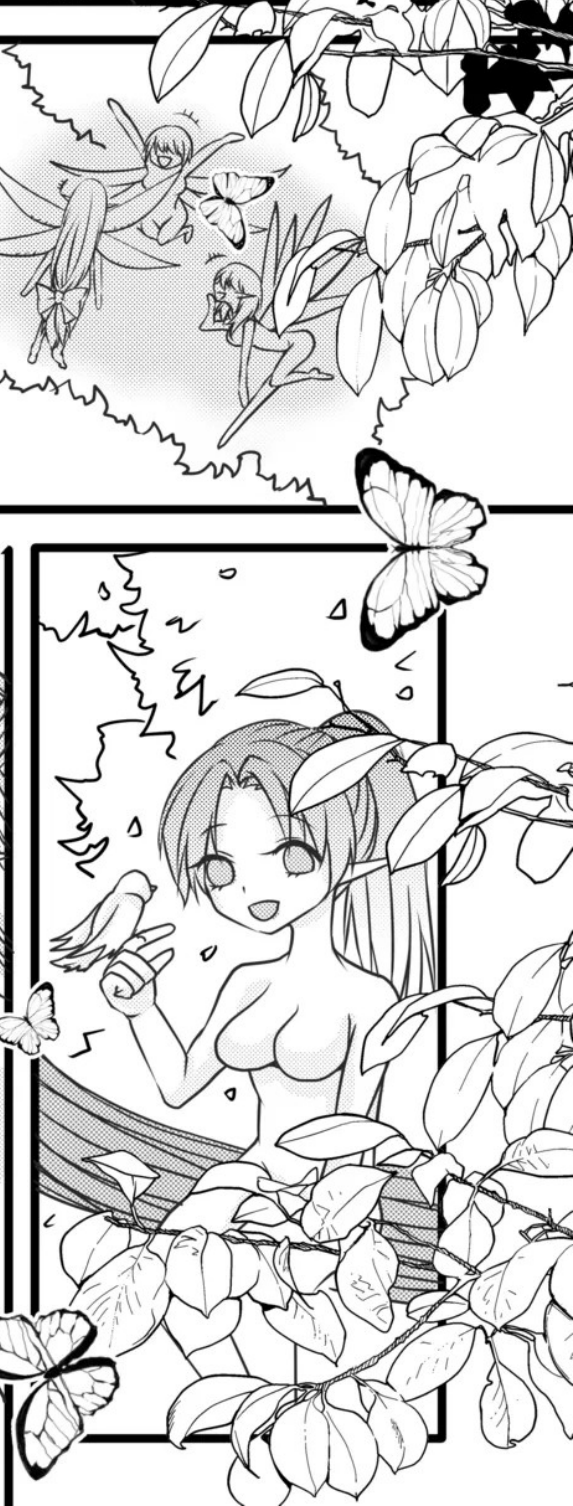
うん：
ナナ：



からだが
まいあがつてゆく

わあ〜

みんなここに
いたんだ





ぼくはまるで さめないゆめを みるみたいだ

